

| | | | |
|------|------------------|---------------------|----|
| 授業科目 | 作業療法臨床実践法（オスキー）2 | 3 学年・後期・1 単位（30 時間） | |
| | | 作業 | 必修 |

| | | | |
|---------|---|-----------------|---------------------------------|
| 科目担当責任者 | 太田久晶（保健医療学研究棟 E512 号） e-mail : hisoh@sapmed.ac.jp | 非常勤講師 連絡担当教員 | |
| 担当教員 | 中村裕二、森元隆文、齊藤秀和、作業療法学科教員 | | |
| 概要 | 臨床現場では、対象者へ適切に関わりながら、検査や面接、治療介入の実施が求められる。そこで、本科目では、実際の患者を想定した状況で検査や面接、治療介入に関する課題に取り組み、実践能力の向上を目指す。学習の到達度については、Advanced OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床応用能力試験) を用いた評定を行い、検査や面接技法のほか、治療介入方法の習得状況を確認する。また、これに併せて、臨床実習生として相応しい身なりや態度、マナーの習得についても確認する。Advanced OSCE 後には、試験課題に対する振り返りを実施し、学生自身が問題点に気づき、その対処方法を学ぶことで、更なる知識や技術の深まりを目指す。 | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床実習生として相応しい身なりと態度で模擬患者に対応し、良好な関係を構築することができる。 2. 身体障害・高齢期領域の模擬患者に対して適切な動作の誘導や介助、評価、介入を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 3. 精神障害領域の模擬患者に対して適切な面接や評価、介入を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 4. 発達障害領域の模擬患者に対して適切な動作の誘導や介助、評価、介入を実施することができ、得られた結果を報告できる。 5. 臨床技能、模擬患者への接遇などの自己の問題点を認識し、それに対する改善策を述べることができる。 | | |
| 関連科目 | 作業療法臨床実践法(オスキー)1、身体障害作業療法学、精神障害作業療法学、発達障害作業療法学、高齢期作業療法学 | | |
| 評価 | 評価対象 | 評価割合(%) | 備考 |
| | 実技試験 | 70% | 実技試験および、レポート課題の成績を合計した点数で判定を行う。 |
| | レポート | 30% | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 教科書 | 指定なし | | |
| 参考書 | ①才藤栄一 監修 [2015 年・6,050 円] 「PT・OT のための臨床技能と OSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編」 金原出版 ②才藤栄一 監修 [2017 年・6,050 円] 「PT・OT のための臨床技能と OSCE 機能障害・能力低下への介入編」 金原出版 | | |
| 履修上の留意点 | Advanced OSCE は総合臨床実習に向けた準備として取り組むこと。講義の開催日に変更がある場合は、通知文を掲示する。 | | |

| 実施回 | 内 容 | 事前・事後課題 | 形態 | 担当教員 |
|-----|--|---|-------|-------|
| 1 | オリエンテーション: 本科目の実施目的、学習方法、実技試験(Advanced OSCE)の実施方法、および、評定方法、履修上の留意事項 課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 1 | 事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習 | 講義・演習 | 太田・齊藤 |
| 2 | 課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 2 | 事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 3 | 課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 3 | 事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |

| | | | | |
|----|--|---|---|-----------------------|
| 4 | 課題内容に基づいた実技演習：身体障害・高齢期領域 4 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 5 | 課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 1 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 森元 |
| 6 | 課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 2 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 7 | 課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 3 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 8 | 課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 4 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 9 | 課題内容に基づいた実技演習：発達障害領域 1 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 中村 |
| 10 | 課題内容に基づいた実技演習：発達障害領域 2 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 11 | 課題内容に基づいた実技演習：発達障害領域 3 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 12 | 課題内容に基づいた実技演習：発達障害領域 4 | 事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習 | 〃 | 〃 |
| 13 | Advanced OSCE 後セミナー1：Advanced OSCE で撮影されたビデオを各学生が視聴し、各自が取り組めた点、および、修正すべき点を振り返る | 事後：リフレクション用紙の記入 | 〃 | 太田・中村・森元・齊藤・作業療法学科全教員 |
| 14 | Advanced OSCE 後セミナー2：Advanced OSCE で撮影されたビデオを各学生が視聴し、各自が取り組めた点、および、修正すべき点を振り返る | 事後：リフレクション用紙の記入 | 〃 | 〃 |
| 15 | Advanced OSCE 後セミナー3：Advanced OSCE で撮影されたビデオを各学生が視聴し、各自が取り組めた点、および、修正すべき点を振り返る | 事後：リフレクション用紙の記入 | 〃 | 〃 |